

第9回 北川流域委員会 議事骨子

平成21年12月15日（火）「小浜市働く婦人の家」において第9回北川流域委員会が開催されました。

これまで北川流域委員会における8回の審議を受け、河川管理者より「北川水系河川整備計画（原案）（国管理区間）」について説明がなされ、その内容についてご審議いただきました。

報 告

前回委員会での質問等について、河川管理者より説明がなされました。説明を受けての委員からの発言は以下のとおりです。

委員からの主な発言

河床変動量や河床縦断勾配変化図では、河床高が上昇傾向にあるように見受けられる。瀬切れは河床の上昇（堆積）が原因ではないか。
ハンゲショウ等の堆積等の影響を受けやすい貴重な生物について調べ、整備計画に記載してはどうか。また、瀬切れと堆積についてもう一度確認をしてほしい。

議 事

河川管理者より「北川水系河川整備計画（原案）（国管理区間）」について説明がなされました。説明を受けての委員からの発言は以下のとおりです。

「北川水系河川整備計画（原案）（国管理区間）」の主な内容

治水

- ・遠敷川合流点から下流部においては、河道の流下能力を向上させる対策に加え、浸透・侵食に対する堤防強化により堤防の信頼性を向上させ、洪水に対する安全度向上を図る。
- ・遠敷川合流点から上流部では、霞堤を活かした治水機能が維持されるよう努める一方、浸透・侵食に対する堤防強化により堤防の信頼性を向上させ、洪水に対する安全度向上を図る。

利水

- ・河川水の利用では、社会情勢等に応じて変化する水需要を把握し、水利用の適正化に努める。
- ・流水の正常な機能の維持を維持するために必要な流量の確保に努める。
- ・渇水時の危機管理対策を円滑に行うため、日常から関係機関等と連携して水利用の調整を図る。

環境

- ・多様な動植物が生息・生育・繁殖する自然環境の保全を図る。
- ・河川の上下流の連続性の確保に努める。
- ・北川に合流する水路等との連続性の確保に努める。

維持管理

- ・重大な被災につながらないよう、堤防や護岸の適正な維持管理に努める。
- ・河道内樹木や堆積土砂に対して、適正な対策・維持を図る。

住民との連携

- ・地域住民との連携・協働による河川づくりを行う。

委員からの主な発言

他の整備計画では、整備計画の治水目標は、「戦後最大洪水」や「確率年」で目標流量を定めていると思う。治水目標がわかりにくい。1,400m³/sについて、もう少しわかりやすく記載してほしい。

洪水を安全に流す取り組みで『橋梁、井堰等の横断工作物について「河川管理施設等構造令」に適合しない場合は、施設管理者に改善指導を行っていく。』とあるが、『施設管理者とともに改善に努める』にしてほしい。

水質保全において、今後小浜市の水道用水利用があるので、河川に求められる水質についても記載できないか。

北川では瀬切れがたびたび発生している。瀬切れの対策についても記載してほしい。

洪水時に流木が海まで流れている。この対応について整備計画に付け加えてほしい。

流木の問題も含め、川だけではなく山も含めた流域として考える必要性や最近の水害の現状とわかってきたことを踏まえた対策等、今後議論をした方がいいのではないのか。

その他

河川管理者より今後実施される「住民意見聴取」について説明がなされました。

委員からの主な発言

少しでも多くの住民から意見が頂けるよう住民意見交換会の周知期間を十分に設けていただきたい。

第10回北川流域委員会の開催と任期延長

第10回北川流域委員会を開催し、整備計画(原案)に対する住民意見などについて報告すること、開催に伴い委員の任期を延長することが了承されました。